

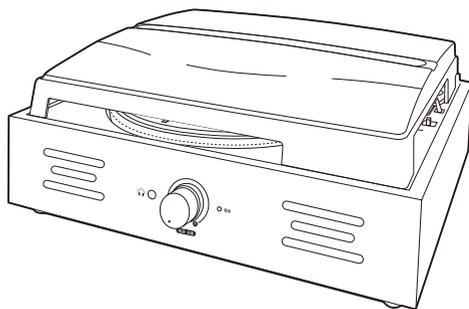
取扱説明書

(保証書付)

このたびはコイズミ レコードプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになったあとも、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4~5
設置場所について	5
レコード盤について	5
各部のなまえ	6~7
電源について	8
レコードを聴く	9~11
他の音響機器をつないで聴く	12
他の音響機器で演奏を聴く	13
市販のヘッドホン・イヤホンで聴く	14
お手入れのしかた	15
本体のお手入れ	15
レコード針のお手入れ	15

仕様	16
故障かな?と思われたときは	16
消耗部品について	17
アフターサービスについて	17
保証・無料修理規定	18
お客様の個人情報のお取り扱いについて	18
保証書	19
お客様相談窓口	19

安全上のご注意

- *ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

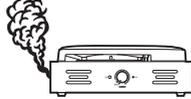
※お読みになった後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください

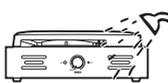
本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。



ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない
火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない
火災・感電の原因となります。



電源はAC100V専用コンセントを使用する
(日本国内専用)
火災・感電の原因となります。



本体の通風孔などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない
お客様のいるご家庭では特にご注意ください。

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
コードが破損して火災・感電の原因となります。

ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする

コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気がつかず、重いものをのせてしまうことがあります。



万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする
刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る

ショート・火災の原因となります。



安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないください。



ACアダプターのコードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。接続は指定のコードを使用する

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく。火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

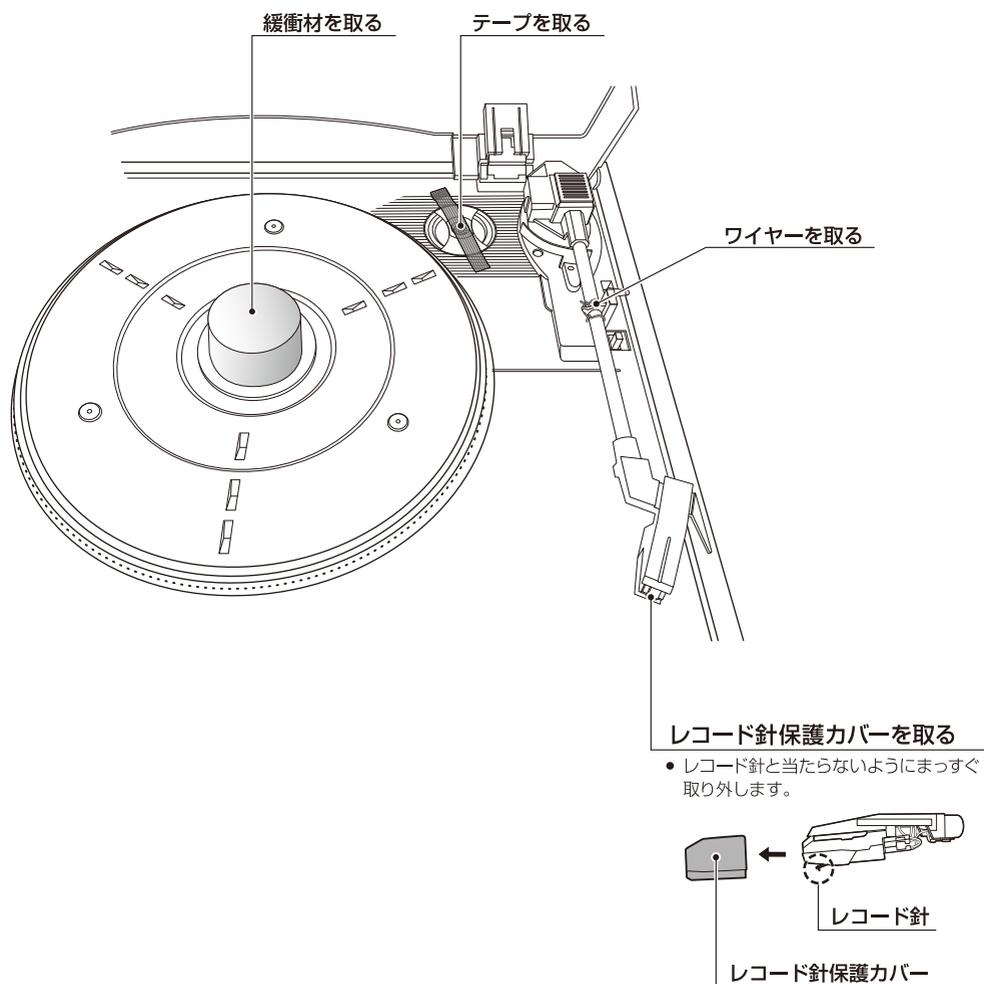
移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

ご使用になる前に

ご使用になる前に、必ず下図の梱包材料を取り外してください。



ご使用になる前に

設置場所について

- 本機を水平な場所に置いてご使用ください。

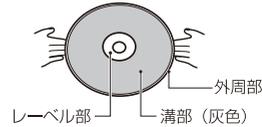
ご注意

- 次のような場所では使用・保管しないでください。
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気が多い場所。
 - テレビやチューナーなどのそば。雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- 本体の分解・改造は絶対しないでください。

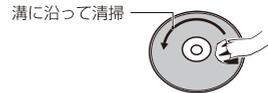
レコード盤について

レコード盤の取り扱い

- 溝部に触れないように、外周部を持つか、レーベル部と外周部を支えるように持ってください。



- レコード盤にほこりや指紋がつくと、雑音などの原因となります。市販のレコードクリーナーなどを使用して清掃してください。レコードクリーナー以外の化学薬品（シンナーなど）を使用しないでください。
- レコードクリーナーを使用する場合は、溝に沿って円を描くように拭き取ってください。



ご注意

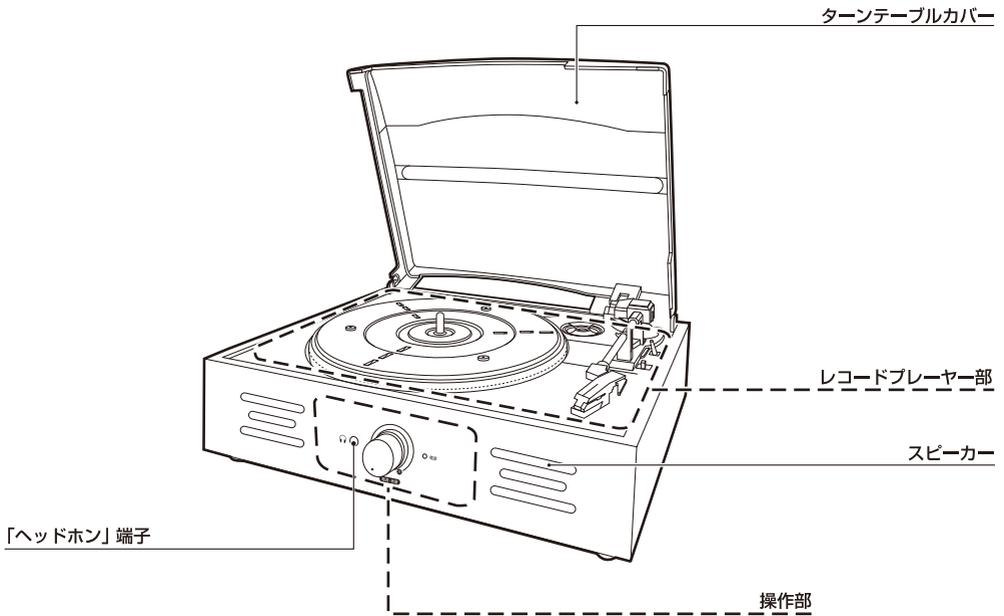
溝部に傷のあるレコードやひびの入ったレコード盤を使用するとレコード針を痛める可能性があるため使用しないでください。

レコード針について

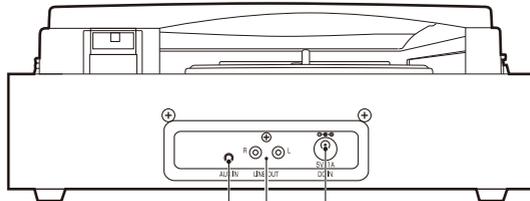
- レコード針は、針先が曲がったり、破損しないように丁寧に扱ってください。曲がったり破損したレコード針を使用すると、レコードを傷めたり故障の原因になります。
- レコード針は、約200時間使用したら、当社指定のレコード針に交換してください。（P.17参照）長時間使用すると音が悪くなる時があります。

各部のなまえ

本体



背面



「AUX IN」端子(外部入力端子)
他の音響機器と市販の接続コード
(3.5mm ステレオミニプラグ)をつなぎます。

「DC IN」端子
付属のACアダプターをつなぎます。(P. 8参照)

「LINE OUT」端子(外部出力端子)
他の音響機器と市販の接続コード
(オーディオピンプラグ)をつなぎます。

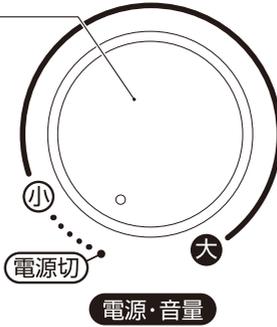
各部のなまえ

操作部

「電源/音量」ダイヤル

「電源」ランプ

「ヘッドホン」端子

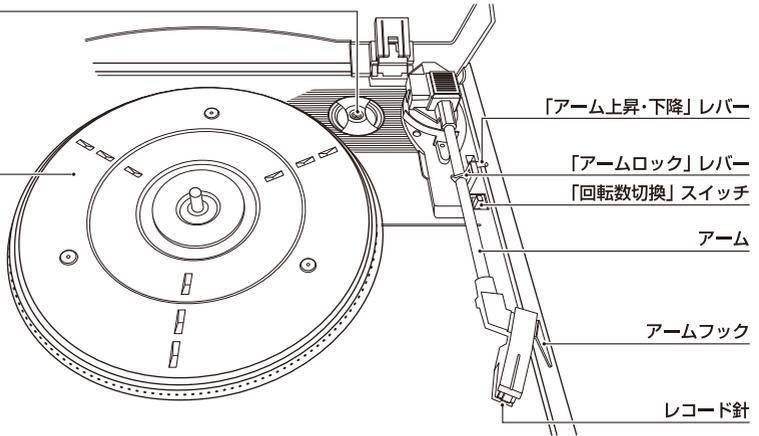


電源

レコードプレーヤー部

EPアダプター

ターンテーブル



「アーム上昇・下降」レバー

「アームロック」レバー

「回転数切換」スイッチ

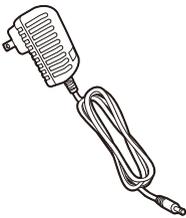
アーム

アームフック

レコード針

付属品

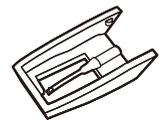
※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



ACアダプター
(型番：SAD-9025)



取扱説明書（本書：保証書付）

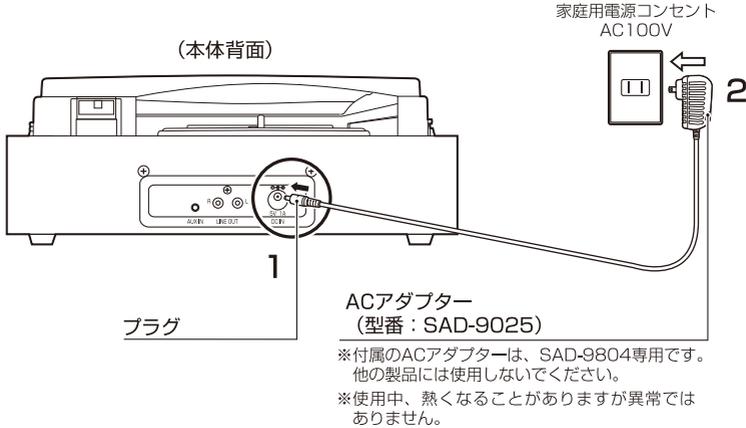


レコード針（交換用）

電源について

1. ACアダプターのプラグを本体背面の「DC IN」端子へ差し込む。

2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。



ご注意

- ACアダプターを抜き差しするときは、電源を「切」にしてから行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のACアダプターを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。
コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

レコードを聴く

1. ターンテーブルカバーをゆっくりと開け、レコード盤をセットする。

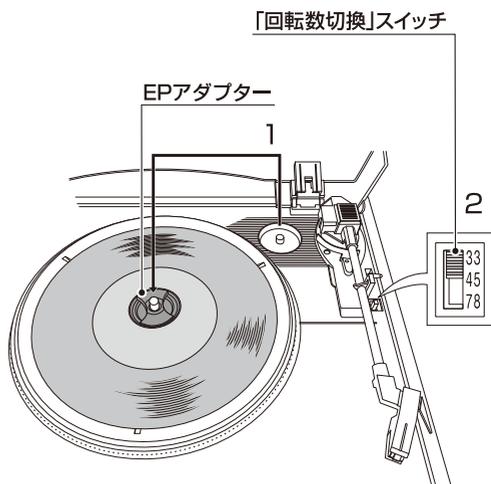
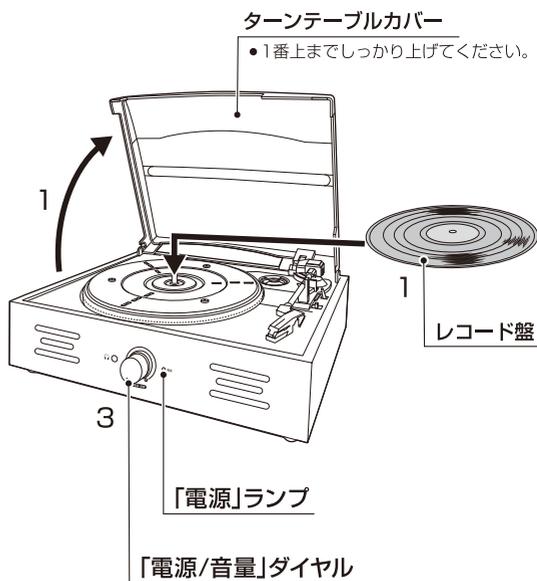
- ターンテーブルカバーを開閉するときは、手などを挟まないようにご注意ください。
- EP盤をセットする時はEPアダプターを使用します。

2. レコード盤の回転数に合わせ、「回転数切換」スイッチを切り換える。

- 回転速度は、「33 1/3、45、78」の3種類があります。

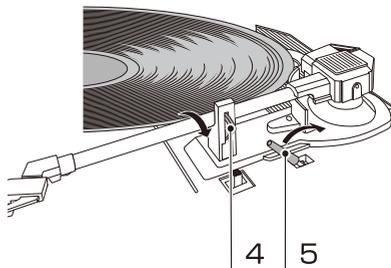
3. 「電源/音量」ダイヤルをまわして「ON」にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

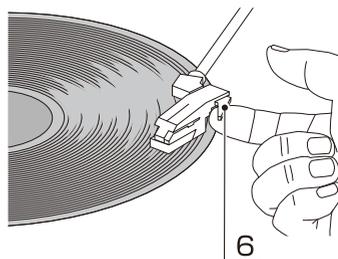


レコードを聴く

4. 「アームロック」レバーを外す。



5. 「アーム上昇・下降」レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを上げる。

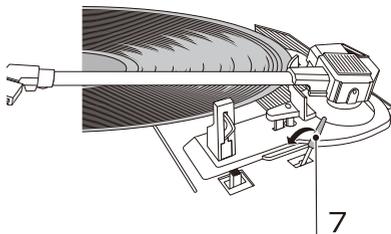


6. レコード盤の外側の端または、再生したい箇所の上までアームを移動する。

- アームを移動させるときは、アームフックを持って移動させてください。

7. 「アーム上昇・下降」レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを下げる。

- レコード針がゆっくり下降し、レコード盤と接触することで、再生を開始します。
- レコード盤の再生が終わると、自動的にターンテーブルの回転が停止します。



ご注意

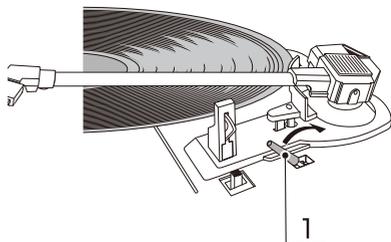
- SP盤・EP盤の場合、再生の途中で停止することがあります。
- レコード盤の再生中に本機に振動を与えると、レコード針が溝を超えて移動し、レコード盤やレコード針を傷める可能性があります。
- 再生が終わった後は、「アーム上昇・下降」レバーでアームを上げてください。

音量を調節する 「電源/音量」ダイヤルを回す。

レコードを聴く

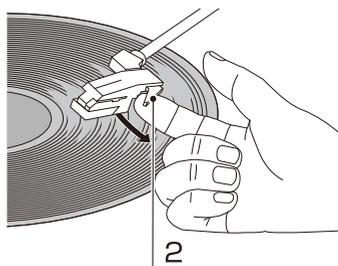
演奏終了後

1. 「アーム上昇・下降」レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを上げる。

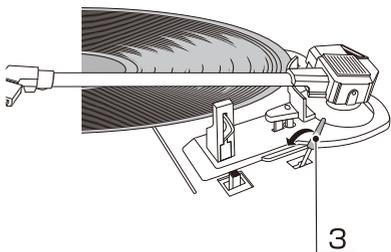


2. 「アームロック」レバーの上までアームを移動する。

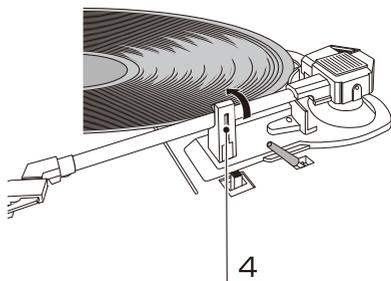
- アームを移動させるときは、アームフックを持って移動させてください。



3. 「アーム上昇・下降」レバーを右図の矢印の方向に傾けて、アームを下げる。



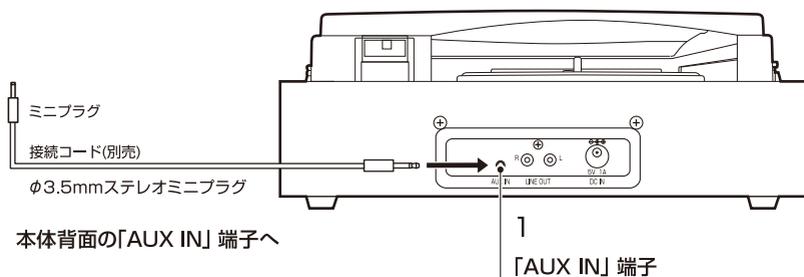
4. 「アームロック」レバーで固定する。



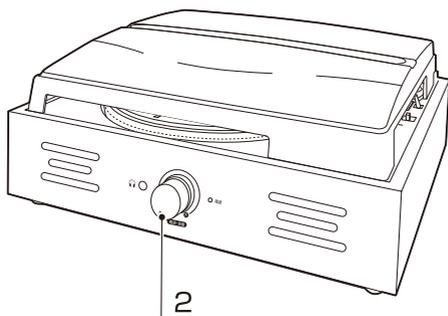
1 他の音響機器をつないで聴く

他の音響機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体背面の「AUX IN」端子と、他の音響機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなく。
2. 「電源/音量」ダイヤルをまわして「ON」にする。
3. 接続した音響機器の演奏を開始する。



本体背面の「AUX IN」端子へ



音量に過不足を感じるとき

本機と接続した他の音響機器の両方の音量を調節する。

※接続した他の音響機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

演奏を止める

1. 接続した他の音響機器を止める。
2. 「電源/音量」ダイヤルを「OFF」にする。
 - 「電源」ランプが消灯します。

1 他の音響機器で演奏を聴く

他の音響機器とつないで、音響機器のスピーカーから聴くことができます。

※本機と他の音響機器をつないでも、本機のスピーカーから音が出ます。

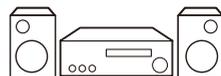
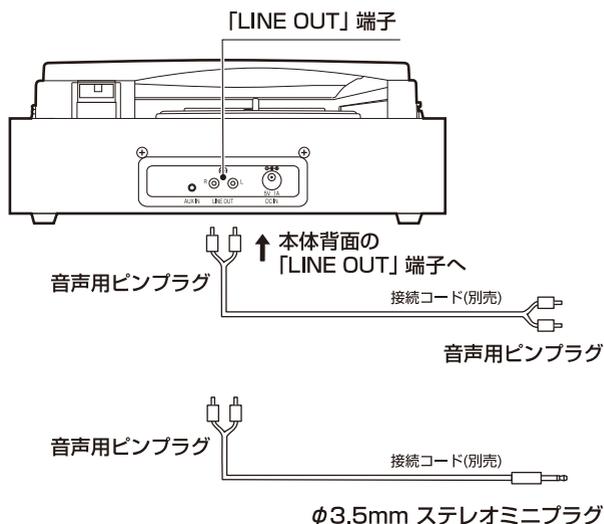
他の音響機器を本機につなぐときは、本機の音量を下げます。

1. 本体背面の「LINE OUT」端子と、他の音響機器の音声入力端子を接続コード(別売)でつなぐ。

2. 「電源/音量」ダイヤルをまわして「ON」にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

3. 本機でお好みの演奏を開始する。



- お手持ちの機器の入力端子にあったプラグ形状の接続コードを使用してください。

音量に過不足を感じる時

本機と接続した他の音響機器の両方の音量を調節する。

※接続した他の音響機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

演奏を止める

本機の演奏を止める。

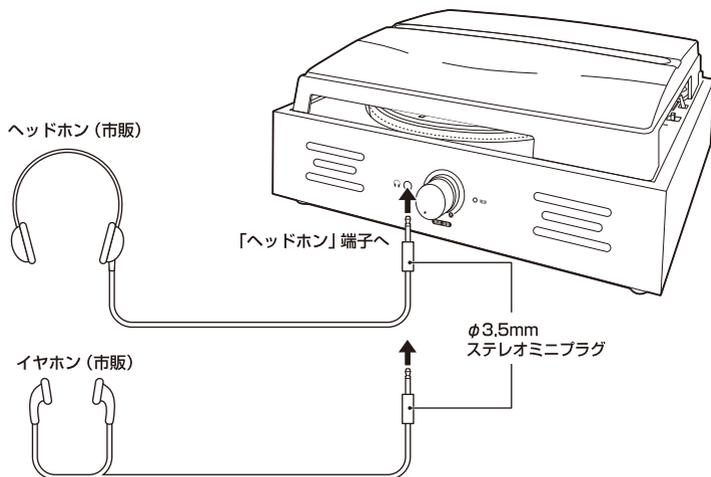
ご注意

- 他の音響機器と本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンの本機につないで、音声を聴くことができます。

・ヘッドホン/イヤホンをつなぐと、スピーカーから音が出なくなります。



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンの本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

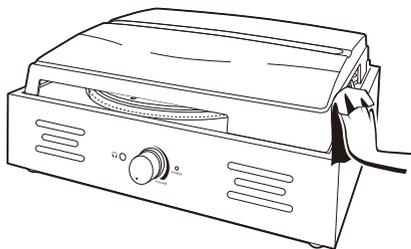
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



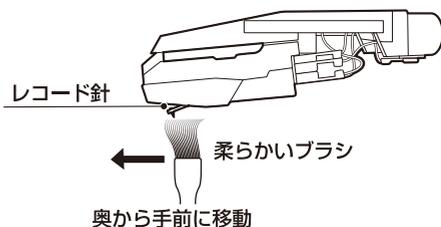
レコード針のお手入れ

レコード針が汚れた場合

レコード盤を長時間再生しているとレコード針が汚れます。レコード針のお手入れは柔らかいブラシなどを使用して奥から手前に拭いてください。違う方向から拭くとレコード針を痛めることがあります。

ご注意

レコード針をお手入れするときは、電源を必ず切ってください。



レコード針の交換

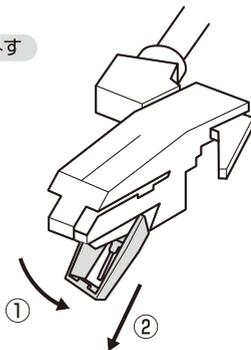
レコード針は長時間再生しているとすり減って音が悪くなったり、レコード盤を痛めることがあります。約200時間使用したら、当社指定のレコード針にお取替えてください。(P.17参照)

交換方法は、下記の手順で行ってください。

外す

先端を①の方向に押し下げて、②の方向に引いて外す。

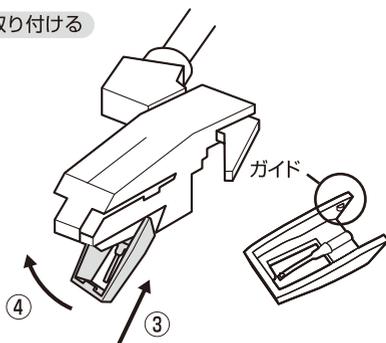
外す



取り付ける

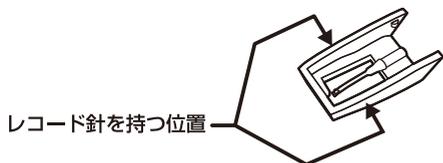
ガイドが引っかかるように③の方向に差し込み、④の方向にしっかり固定されるまで押し上げる。

取り付ける



ご注意

レコード針は、両側を持つようにしてください。
他の場所を持つとレコード針を痛める可能性があります。



仕様

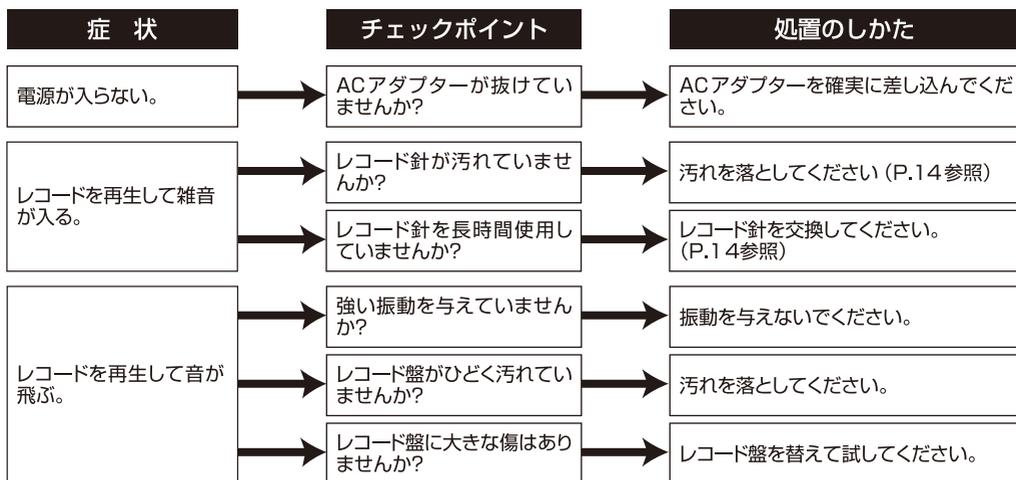
駆動方式	ベルトドライブ
回転速度	33 1/3、45、78 rpm
レコード針	ルビー
トラック方式	ステレオ
実用最大出力	0.8W+0.8W (JEITA)
スピーカー	4.0×7.0cm (4Ω) ×2
入力端子	AUX端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ)
出力端子	ヘッドホン端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ) LINE OUT端子 (RCA×2)
電源	DC5V (付属ACアダプター使用時)
消費電力	5W
最大外形寸法	約325 (幅) ×295 (奥行) ×130 (高さ) mm
質量	約2.0kg
付属品	ACアダプター (型番: SAD-9025)、交換用レコード針、取扱説明書 (本書: 保証書付)

●ACアダプター (型番: SAD-9025)

入力	AC100-240V 50/60Hz 0.3A
出力	DC5V 1000mA
コード長	約1.8m

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは



消耗部品について

● レコード針は消耗部品としてお買い求めいただけます。

消耗部品を依頼される場合は、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名 称
レコード針（1 本入り）

アフターサービスについて

1. 保証書

● この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● レコードプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

保証・無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、「無料修理」**致します。
- 2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
- 3.**ご転居、ご贈答品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の「修理センター」へご相談ください。
- 4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
- 5.保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 6.本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 7.本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

レコードプレーヤー

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	SAD-9804		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対	本	期間（お買い上げ日より） 1 年
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	TEL
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪府住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪府住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2019年12月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)